



うちどく

# 家読のススメ NO. 2

## 家庭の読書で育つ力

「家読（うちどく）」は、「家族ふれあい読書」の略語で、本校で行われている「朝の15分間読書（朝読）」運動の家庭版として、**家族で同じ本を読み、読んだ本の感想を話し合うこと**で「家族のコミュニケーション」をさらに深めようという取り組みです。ただし、**昨年度からは家族で違う本を読んで互いに本の感想を紹介しあう取り組みもあり**とルールを変更しています。互いに読んだ本を紹介しあうことからではじめてもらうのもいいではないか、家族の方にもっと読書をしてもらいたい、そして本について家族で話し合っていて欲しい、読書を通してコミュニケーションを深めて欲しいという理由からです。先生も「家読」をしています。

読書を通して、家族間のコミュニケーションをより深め、読書体験を他者と共有することで、人とながる喜びや読書の楽しさを広げましょう。

**読書は個人的な体験ですが、感想を話し合ったり、人にすすめたりしてことばにすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高める事につながります。「家読」は、子どもも大人も一緒に成長し心の豊かさを育む活動でもあるのです。**（トーハン「うちどく実践ガイド」より）

## 読書を、おうちの文化にしよう！

子どもも大人も関係なく、それぞれの目線で一緒に本の世界を楽しみ、共感し、語り合えることが「家読」の良さです。

そこでことしも**1年に3回の「家読強化週間」**を設けて実施します。

ご協力お願いいたします。

なお、「家読ノート」を配布しますので、無理のない範囲で、家読された感想やご意見を書いてください。



1回目は、7月20日(土)～7月31日(火)（夏休み中）家読ノート提出は8月1日(木)

2回目は、10月27日(日)～11月9日(土)（読書週間）家読ノート提出は11月11日(月)

3回目は、12月25日(水)～1月7日(火)（冬休み中）家読ノート提出は1月8日(水)

コーナーができました！！

### 『中学生に読んでほしい30冊』2019（新潮文庫）

「赤毛のアン」「あと少し、もう少し」「精霊の守り人」「アメリカひじき・火垂るの墓」「潮騒」「博士の愛した数式」「夜のピクニック」「きみの友だち」「伊豆の踊子」「海辺のカフカ」「ツナグ」「坊っちゃん」「楽隊のうさぎ」「しゃばけ」「ポッコちゃん」「走れメロス」「星の王子さま」「蜘蛛の糸・杜氏春」「夏の庭」「十五少年漂流記」「4TEEN」「本屋さんのダイアナ」「飛ぶ教室」「老人と海」「あしながおじさん」「西の魔女が死んだ」

「青い鳥」と「女子中学生の小さな大発見」と「注文の多い料理店」と「さがしもの」の納入予定の4冊を除いて1階生徒玄関横に置いています。君はこの1年間で何冊読破できるかな？



平成28年度に「美里中学校区 家読フォーラム」が行われました。講師先生のアンドリュー・デュアー氏（東海学院大学 教授 子ども司書推進プロジェクト代表）は『家庭の読書で育つ力』と題して、次のような効果が得られるとお話くださいました。

### 読書から得られる17の効果

- 1 子どもの語彙が大幅に増える
- 2 言葉と読解力が発達する
- 3 学力が高まる
- 4 想像力と集中力が鍛えられる
- 5 性格が形成される
- 6 感情や感性が発達する
- 7 社会性が発達する
- 8 人に気持ちが読める共感が成熟する
- 9 文脈理解力が鍛えられる
- 10 経験の拡張ができる
- 11 悩みを解消する力が身につく
- 12 進路のヒントが得られる
- 13 親などとの絆が深まる
- 14 時間を楽しく過ごせる
- 【+家庭ふれあい読書（家読）で得られるもの】
- 15 本を選ぶ力
- 16 最後まで読む根気
- 17 家族だけの顔を合わせる時間

日付は抜いています

### 昨年度、家読強化週間で読まれた本 & 感想（昨年度の『家読のすすめ』より）

<p>家読で読んだ本の題名 <b>青くて痛くて脆い</b> 作者 住野よる 出版社 角川書店</p>	<p>読んだ人 自分 好きな登場人物 田端 楓 感想 学生時代は「青くて痛くて脆い」ようなものだから後悔してもその時にしか学べないことを学べばよいと思った。</p>		<p>読んだ人 母 好きな登場人物 田端 楓 感想 高校生までにはできなかったこと。大人になってしまおうとできないこと。大学生からできること。大学生を象徴するような作品だ！と思いました。</p>
<p>家読で読んだ本の題名 <b>君たちはどう生きるか</b> 作者 吉野源三郎 出版社 マガジンハウス</p>	<p>読んだ人 自分 好きな登場人物 コペル君 感想 私は、コペル君が友達を裏切るところが印象に残りました。もし、自分だったら友達を優先して助けに行きたいと思います。私はこの本を読んで、友達の大切さが分かりました。なので、友達を大切にしようと思いました。</p>		<p>読んだ人 父 好きな登場人物 コペル君 感想 悩んで苦しむ事が成長につながるのかな。大人になっても悩んでいます。</p>
<p>家読で読んだ本の題名 <b>とても温かとてもせつないきみの絵本文</b> さだまさし 出版社 千倉書房</p>	<p>読んだ人 自分 好きな登場人物 カンガルー 感想 この本は、学校でお薦めになっていたのを読んでみました。さだまさしさんの本でとても良い本だなと思いました。</p>	<p>家読で読んだ本の題名 <b>七つの会議</b> 作者 池井戸 潤 出版社 講談社文庫</p>	<p>読んだ人 父 好きな登場人物 感想 世の中に出ている企業不正は、氷山の一角なんだなあと思える作品。</p>

家読の感想を見ると、家読を通じて、子どもの日々の成長や変化を感じられるようです。本を通じて子どもたちとの楽しいひとときを過ごしていただき、子どもたちの新しい一面を発見していただけたらうれしい限りです。

毎年、たくさんの本を購入しています。



## ～うちどくへおすすめする本～

「羊と鋼の森」「コーヒーが冷めないうちに」「茨の木」「桜風堂ものがたり」「海の見える理髪店」「図書館戦争」「君たちはどう生きるか」「お任せ 数学屋さん」「ミカ!」「風に立つライオン」「無人島に生きる十六人」「いのちのハードル」「1リットルの涙」母の手記」「穴」「赤毛のアン」「君の臓腑をたべたい」「凍りのくじら」「ぼくらの七日間戦争」「まる子だった」「天の瞳 幼年編」「あなたは誰かの大切な人」「浜村渚の計算ノート」「佐賀のがばいばあちゃん」「きみの友だち」「最後の一片」「種をまく人」「ものを食う人びと」「勉強ができなくても恥ずかしくない<1>」「世界を見る目が変わる50の事実」「幸福な食卓」「16歳の教科書 ドラゴン桜公式副読本」「100万回生きたねこ」「ピラミッドの建て方」「18きっぷ」「心に響く小さな5つの物語」